

目次

論文

「葦原中国」語彙の伝承 — 古層日本語の融合構造 —	木村紀子	1
精神分析化及び「教祖的人間」としての Bion	Mohamed HAFSI	66
— 彼の研究への Bhagavad-Gita の影響 —		
グループにおける「特殊作動グループ」の役割と効果に関する実験的研究	井上操	82
学校トイレの拒否 — その心理的原因に関する実証的研究 —	平尾浩子	96
診断グループ (Diagnostic Group) における		
「発達」の心理力動に関する研究	原野友美	124
集団文化における変化		
— Bion による「変則形態」(Aberrant Forms) に関する実証的研究 —	川井理恵子	148
羨望と投影同一化	勝原千晴	164
— デイクアスタッフとして非治療的に関わった女性患者のケースから —		
投影同一化と、それに対する container としての治療者の機能不全	黒崎優美	176
— beta 要素を運ぶ救急車と少年 —		
博士論文要旨 (平成十一年度)		
文学研究科 文化財史科学専攻		
幕末情報社会の研究	板東俊彦	181

原始・古代土器棺葬の研究	角南 聡一郎	194
修士論文要旨 (平成十一年度)		

文学研究科 国文学専攻

芥川龍之介「蜘蛛の糸」論	鈴木 佐和子	199
芥川龍之介「河童」論	樋口 朋子	203

文学研究科 文化財史科学専攻

古代大蔵省の制度改革について	上原 治	211
古代施薬院の職掌について	佐々木 有美	215
地藏菩薩像の研究 僧形像・僧形菩薩像の系譜より	原 洋一	220
仏像彫刻にみられる装身具	堀 純子	224
室町期・淀魚市における塩流通についての一考察	前久保 宏江	230
来迎図にみる音楽表現 伎楽菩薩と楽器に関する絵画的考察	松本 有香子	234
線象嵌技法に関する一考察 韓国と日本を中心に	林 志暎	245
古墳の墳丘形態の研究	遠藤 啓輔	250
エジプトナカダⅡ期の認知的側面について	関 廣 尚世	254
彩文土器からヒエログリフへの機能的アプローチを中心に		
高句麗壁画古墳における図像構成 四神図を中心として	玉井 みゆき	262

弥生時代石器流通システムの崩壊過程	山崎 頼人	266
―近畿地方における事象を中心に―		

社会学研究科 社会学専攻

グループは発達するのか？	原野 友美	273
--------------	-------	-----

〔診断グループ (Diagnostic Group) の発達過程に関する研究〕

集団文化における変化	川井 理恵子	278
------------	--------	-----

―Bionによる「変則形態」(Aberrant Forms) に関する実証的研究―

農家の二世代夫婦家族における意志決定過程の研究	森 美春	284
-------------------------	------	-----

―世代間の差異とその調整―

奈良大学大学院研究年報に関する規程・投稿要領